

## 岩美町における男女共同参画社会実現のための アンケート調査へご協力をお願いします

町民の皆様には、日頃から町政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

町では、「第2次岩美町男女共同参画に関する基本計画」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な取り組みを行っています。この調査は、「第2次岩美町男女共同参画に関する基本計画」の計画期間が令和2年度で終了することに伴い、「第3次岩美町男女共同参画に関する基本計画」（令和3年度～令和7年度）策定の基礎資料とするため、20歳以上の町民の皆様の中から無作為に1,500人を抽出し、ご意見をお伺いするものです。お答えいただいた調査票は、すべて統計的に処理し、内容は調査目的以外には使用いたしません。

また、個人が特定されることもありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年5月

岩美町長 西垣 英彦

### ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査の回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。事情によりご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方などが回答を聞き取るなどして代わりにご記入いただいてもかまいません。また、すべての質問に男女を問わずお答えください。
- 2 この調査は、無記名調査です。調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所を記入していただく必要はありません。
- 3 この調査票は、黒のボールペン、鉛筆などではっきりと記入してください。
- 4 回答は質問にしたがって、あてはまる番号に○をつけてください。複数回答をお願いする設問もあります。
- 5 「その他」を選んだ場合は、( ) 内にできる限り具体的な内容をご記入ください。
- 6 この調査に出てくる「配偶者」とは、婚姻関係にある夫婦及び事実婚上の夫婦を意味しています。
- 7 回答していただく方が限られる質問もありますので、回答後の案内や「ことわり書き」をよくお読みいただき、お答えください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき **5月29日(金)まで** にポストにご投函ください。

なお、封筒には切手を貼っていただく必要はありません。

【問い合わせ先】 この調査に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

岩美町教育委員会事務局 人権同和対策係 担当：廣田

電話：0857-73-1302（※電話受付時間 平日8:30～17:15）

Eメール jinkendouwataisaku@iwami.gr.jp

## 男女平等に関する意識についておたずねします

問1 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、あなたの考えにいちばん近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
① 学校教育	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 家庭生活	1	2	3	4	5
④ 町内会などの地域活動の場	1	2	3	4	5
⑤ 政治や行政の施策・方針決定の場	1	2	3	4	5
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
⑦ 社会通念・慣習やしきたりなど	1	2	3	4	5
⑧ 全体として	1	2	3	4	5

## 結婚や家庭生活についておたずねします

問2 結婚・家庭等について、あなたのご意見をおたずねします。①～⑤の項目について、あなたの考えにいちばん近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
③ 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
④ 結婚してもうまくいかなければ離婚すればよい	1	2	3	4	5
⑤ 男性も女性もどちらも仕事と家庭を両立できるとよい	1	2	3	4	5

問3 あなたが家事・育児・介護に携わる1日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。①～③の項目について、平日・休日それぞれ0～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

### ①家事

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時 間	2～3時 間	3～5時 間	5～8時 間	8時間 以上
平日	0	1	2	3	4	5	6	7
休日	0	1	2	3	4	5	6	7

②育児

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時 間	2～3時 間	3～5時 間	5～8時 間	8時間 以上
平日	0	1	2	3	4	5	6	7
休日	0	1	2	3	4	5	6	7

③介護

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時 間	2～3時 間	3～5時 間	5～8時 間	8時間 以上
平日	0	1	2	3	4	5	6	7
休日	0	1	2	3	4	5	6	7

問4 あなたのご家庭では、①～⑪の項目について、主に誰が担っていますか。1～8の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	主に 自分	主に 配偶者	配偶者と 同じ程度 (半々 に) 分担 している	親や子 どもな ど他の 家族	家族全 員で分 担して いる	その他 (家族以 外)	行う必要 がない・ 対象者が いない	特に 決めて いない
① 食事の支度	1	2	3	4	5	6	7	8
② 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 洗濯	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 掃除	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 育児・子どもの 世話	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 親や病人の介護	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 地域活動(自治 会・PTAなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 子どもの学校の 活動・行事	1	2	3	4	5	6	7	8
⑩ 生活費の負担	1	2	3	4	5	6	7	8
⑪ 日常の家計の 管理	1	2	3	4	5	6	7	8

問4-1 あなたは、現在の家庭内での役割分担を全体的にみて、現状に満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	満足している	2	どちらかといえば満足している
3	どちらかといえば不満である	4	不満である
5	特に何とも思わない		

問5 男性が今後、女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. 男性が家事、子育てなどに参加することに対して男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事、子育てなどに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかり、お互いに理解をすること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度など多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持つようになること
7. 男性による家事、子育てなどについて、職場における上司や周囲の理解をすすめること
8. 男性が家事、子育て、介護などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
9. 研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
10. 男性が家事、子育て、介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
12. 特に必要なことはない

## 仕事や働き方についておたずねします

問6 あなたは今、どのような雇用形態で働いていますか。（出産や育児・介護のために休んでいる場合は働いていると考えてください）1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 正規雇用者（正社員や正職員）
2. 非正規雇用者（パート、アルバイト、臨時、嘱託など）
3. 自営業（農林漁業を除く）
4. 農林漁業
5. その他の仕事（具体的に： \_\_\_\_\_）

6. 収入を伴う仕事をしていない（家事専業、無職、学生など）

問7へお進みください

問11へお進みください

問7 あなたの現在の立場についておたずねします。1～5の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 事業主・経営責任者
2. 会社などの役員
3. 役員以外の管理者（部長・課長）
4. 職場の責任者・チーフ・係長
5. 1～4のような立場にはない

問8 あなたの職場では、育児や介護のための休業制度を気軽に取得することができますか。

1. できる **問10へお進みください**
2. できない **問9をお答えください**



問13 問12で1～3のいずれかを答えた方におたずねします。なぜ、そう思うのか1～5の中から、あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 女性は家庭を守るべきだから
2. 子どもは母親が家庭で面倒を見たほうがよいから
3. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないから
4. 女性が働き続けるのは大変そうだから
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

回答後、問15へお進みください

問14 問12で4または5と答えた方におたずねします。なぜ、そう思うのか1～6の中から、あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働くことを通じて自己実現（自分を知り、自分らしく自分の好きな道を進むこと）が図れるから
2. 子どもは母親が家庭で面倒を見たほうがよいから
3. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
4. 女性も働くことでも社会とつながりを持つべきだと思うから
5. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がよいから
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問15 全員の方におたずねします。子育てや介護によりいったん退職した女性が再就職や起業にチャレンジするために、1～8の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 出産・育児などで退職した同一企業等への再雇用制度の充実
2. 再就職や起業を目指すひとに対する子育て支援、保育や介護サービスの充実
3. 働くことへの家族や周囲の理解と協力
4. 女性の再就職を応援する社会全体の意識
5. 個別の状況に応じた柔軟な勤務形態（在宅勤務など）の導入
6. 女性同士の情報交換や交流の場
7. 再就職支援セミナーや職業訓練の機会の充実
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問16 全員の方におたずねします。男女がともにいきいきと働くために、岩美町がなすべきことは何だと思いませんか。1～8の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は2つまで）

1. 男女の均等接遇について、企業への周知徹底
2. 労働時間の短縮、育児・介護のための休業制度の充実など、企業への働きかけ
3. DV（ドメスティック・バイオレンス）やセクシュアルハラスメントなどの防止のための対応
4. 再就職のための講座・情報提供・能力開発等支援
5. 年齢・性別に関係なく、就労の機会を増やすための支援
6. 介護支援サービスの充実
7. 保育サービス・学童保育などの子育て支援の充実
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についておたずねします

\*ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは:「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

問17 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。

1～8の中から、あなたの希望に最も近い番号1つに○をつけてください。なお、現在、仕事をしていない方もお答えください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問18 それでは、1～8の中からあなたの現実（現状）に最も近い番号1つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問19 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図るために、1～9の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 保育や介護を支援するサービスや施設など、社会的サポートの充実
2. 育児・介護休業取得に対する職場の上司・同僚の理解浸透
3. 職場の両立支援制度（在宅勤務や短時間勤務、育児休業・介護休暇や退職者再雇用など）の充実
4. 両立支援制度の利用促進
5. 育児休業・介護休暇中の賃金その他の経済的支援などの充実
6. 長時間勤務の見直し
7. 家族や配偶者の理解と協力
8. 個人の意識改革や努力
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 地域活動についておたずねします

問20 ①～⑨の活動において、あなたの今の参加状況と今後の参加の意思についてそれぞれ選んで○をつけてください。

地域活動の内容	現 状		今 後	
	参加して いる	参加して いない	参加した い、また は、参加し 続けたい	参加した くない
① 町内会、自治会の活動	1	2	1	2
② PTAの活動	1	2	1	2
③ 子ども会活動や青少年スポーツの指導や世話	1	2	1	2
④ NPO(非営利団体)やボランティア活動	1	2	1	2
⑤ 学習、趣味、スポーツ活動	1	2	1	2
⑥ リサイクル、消費者運動などの住民活動	1	2	1	2
⑦ 防災や消防団、防犯に関する活動	1	2	1	2
⑧ 各種審議会や委員会など政策決定に関わる活動	1	2	1	2
⑨ その他(具体的に： )	1	2	1	2

問21 問20の活動に、今は「参加していない」現状でかつ今後も「参加したくない」を1つ以上選んだ方におたずねします。その理由について、1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 時間的余裕がない 3. どのような活動があるのかわからない 5. 人間関係がわずらわしい 7. 子どもや高齢者がいるのででかけにくい 9. 経済的余裕がない 11. その他 (具体的に： )	2. 参加したい活動がない 4. 参加方法がわからない、きっかけがない 6. 家族の協力、理解が得られない 8. 健康に不安がある 10. 関心がない
--	---

問22 全員の方におたずねします。地域活動に参加しやすくするために必要なことは何だと思いませんか。1～11の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 活動に関する情報提供が充実していること 2. 活動に関する相談体制が充実していること 3. 団体や活動メニューが豊富にあること 4. 自分にあつた内容が選べること 5. 自分のために自由に使える時間があること 6. 活動を始めるために体験や講習などのきっかけがあること 7. 必要な場所・施設が身近にあること 8. 必要な場所・施設が使いやすいこと 9. 活動に参加するための休暇などが取得できること 10. その他(具体的に： ) 11. 特に必要なことはない	)
--	---



問23 地域活動に男女がともに<sup>※</sup>参画するために、1～11の中であなたが必要だと思う番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 若い世代の人の意見を聞くなど誰でも参加しやすい雰囲気をつくる<br>2. 全員が発言し、全員で決定するなど会議の方法を工夫する<br>3. 会議などの開催時刻の配慮や会議の時間・回数短縮を図る<br>4. 子どもを連れて会議などに参加できるようにする<br>5. 男女の役割の固定化(男性は草刈り、女性は炊き出しなど)をなくし、各自が得意分野で活躍できるようにする<br>6. 社会的地位や肩書きによる発言力の上下関係をなくす<br>7. 役員を輪番制にする<br>8. 副会長を複数にして、会長の負担を軽減する<br>9. 男性の会長を増やす<br>10. 女性の会長を増やす<br>11. その他(具体的に: _____) |
|--|

※参画…集まりに計画の段階から責任をもって積極的に加わること

## ドメスティック・バイオレンス (DV) についておたずねします

**\*ドメスティック・バイオレンス (DV) とは:** 配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことをいいます。「殴る」「蹴る」といった身体的暴力だけではなく、大声で怒鳴るなどの精神的暴力・生活費を渡さないなどの経済的暴力・性行為を強要するなどの性的暴力などもDVです。

問24 あなたは、これまでに、パートナー(配偶者や恋人など)から①～⑧のようなことをされたことがありますか。それぞれ1～3の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	何 度 も あ っ た	1, 2 度 あ っ た	ま っ た く な い
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
② あなたもしくはあなたの家族に危害をくわえられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3
④ 大声でどなられた	1	2	3
⑤ 何を言っても長時間無視し続けられた	1	2	3
⑥ 交友関係や電話・メールを細かく監視された	1	2	3
⑦ 「だれのおかげで、お前は食べられるんだ」などと、人格を傷つけられるようなことを言われた	1	2	3
⑧ 生活費を渡さないなど経済的な圧迫を受けた	1	2	3

①～⑧のうち、1つでも1または2と答えた方は、問25へお進みください。  
また、すべて3と答えた方は問28へお進みください。

問25 あなたは問24の①～⑧のような行為を受けたことについて、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

1. 相談した **問26へお進みください**      2. 相談しなかった **問27へお進みください**

問26 だれ(どこ)に相談しましたか。1～14の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 家族・親族                                    | 2. 友人・知人        |
| 3. 同じような経験をした女性                             | 4. 警察           |
| 5. 町の相談窓口・電話相談など                            |                 |
| 6. 福祉相談センター(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所)            |                 |
| 7. 人権相談の窓口(法務局、人権擁護委員、民生児童委員など)             |                 |
| 8. 女性相談の窓口(心と女性の相談室・男女共同参画センター)             |                 |
| 9. 男性相談の窓口(男女共同参画センター(センター相談室・東部相談室・西部相談室)) |                 |
| 10. 医師・カウンセラーなど                             | 11. 女性グループなど    |
| 12. 学校関係者(教員・スクールカウンセラーなど)                  |                 |
| 13. 家庭裁判所・弁護士など                             | 14. その他(具体的に： ) |

**回答後、問28へお進みください**

問27 だれ(どこ)にも相談しなかった(できなかった)のはなぜですか。1～12の中から、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. だれ(どこ)に相談してよいかわからなかったから
2. 相談する人がいなかったから、相談できるところがなかったから
3. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから、世間体が悪いと思ったから
4. 相談してもむだだと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けるとおもったから
6. 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっているとと思ったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. 子どもに危害がおよぶと思ったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことではないと思ったから
11. 今後されることはないと思ったから
12. その他(具体的に： )

問28 全員の方におたずねします。DV(配偶者や恋人など親密な関係にある相手からの暴力)を防止したり、なくしたりするためにどのような対策が必要だと思いますか。1～9の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 家庭内や交際中でも暴力は犯罪であるという意識啓発
2. 相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処方法などの知識の提供
3. 加害者へのカウンセリングなどの更生支援
4. 家庭におけるお互いの性を尊重する意識づくり
5. 学校におけるお互いの性を尊重する教育の充実
6. 行政や警察の積極的な啓発
7. 法律による規制の強化や見直し
8. 暴力的な映像やゲームソフトの販売、貸し出しの規制
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

## 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについておたずねします

問29 政治、行政における政策や、自治会、町内会においての企画や方針を決める場に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。1～8の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性優位の組織運営のため</li> <li>3. 性別による役割分担意識のため</li> <li>5. 家事、子育て、介護の負担が大きい</li> <li>7. 女性の登用を積極的に行っていないため</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 家族の支援・協力が得られないため</li> <li>4. 女性の能力開発の機会が不十分であるため</li> <li>6. 女性自身の積極性が不十分であるため</li> <li>8. その他（具体的に： _____）</li> </ol> |
|--|--|

問30 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、町行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。1～13の中から重要だと思う番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 男女共同参画に関する情報提供や意識啓発のための学習会や講演会などの充実
2. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実させる
3. 事業所等に対して男女の均等な雇用機会や労働条件の整備を働きかける
4. 育児や介護を支援する施設やサービスの充実
5. 学校における男女平等教育の推進
6. 男女ともに働きやすい職場をつくるための企業への啓発
7. 町の審議会等に女性を積極的に登用すること
8. 男女に関係なく参画しやすい地域活動やボランティア活動の促進
9. 岩美町男女共同参画推進条例の周知
10. DVなどあらゆる暴力、ハラスメントの防止や根絶
11. <sup>※</sup> SOGI（ソジ）など多様な性に対する理解促進
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
13. わからない

※SOGI（ソジ）…**Sexual Orientation**（セクシャル・オリエンテーション：性的指向）…自分が好きになる性と **Gender Identity**（ジェンダー・アイデンティティ：性自認）…自分が認識してる性の英語の頭文字をとった頭字語です。

## 最後に、あなたご自身のことについておたずねします

F 1. あなたの性別をお答えください。

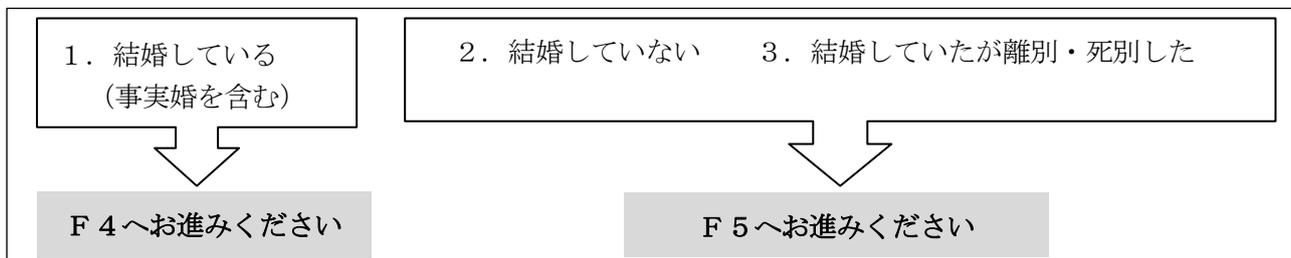
※性別について答えたくない、分からないなどの方は3を選択し、( ) 内に記入してください。

- |        |        |                             |
|--------|--------|-----------------------------|
| 1. 女 性 | 2. 男 性 | 3. (                      ) |
|--------|--------|-----------------------------|

F 2. あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

- |           |            |            |           |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳  | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳  | 7. 50～54歳  | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～79歳 | 12. 80歳以上 |

F 3. あなたは、現在結婚していますか。(婚姻届を出していない事実婚を含みます)



F 4. F 3で「1. 結婚している」と回答した方におたずねします。あなたの家庭での就労状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 自分も配偶者も働いている | 2. 自分だけ働いている     |
| 3. 配偶者だけ働いている   | 4. 自分も配偶者も働いていない |

F 5. 全員の方におたずねします。あなたのご家族の構成は次のどれにあたりますか。

- |                    |                                     |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身世帯)    | 2. 夫婦のみ(一世代世帯)                      |
| 3. 親と同居(二世帯世帯)     | 4. 子どもと同居(二世帯世帯)                    |
| 5. 子どもと孫と同居(三世帯世帯) | 6. 親と子どもと同居(三世帯世帯)                  |
| 7. 祖父母と親と同居(三世帯世帯) | 8. その他(具体的に:                      ) |

F 6. 全員の方におたずねします。あなたには一緒に暮らしている家族の中で次にあてはまる方がいらっしゃいますか。ただし、お子さんについては、あなたのお子さん(配偶者の連れ子を含む)についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 3歳未満の子ども        | 2. 3歳以上小学校入学前の子ども |
| 3. 小学生             | 4. 中学生            |
| 5. 高校生以上の子ども       | 6. 介護・介助を必要とする方   |
| 7. 1～6にあてはまる家族はいない |                   |

